

公務災害防止事業の推進

▶ 消防団員安全管理セミナーを実施して ◀

北海道消防協会上川地方支部富良野地区分会

1. はじめに

北海道消防協会上川地方支部富良野地区分会は富良野市、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村の1市3町1村で構成され、今回の安全管理セミナー開催地である南富良野町は北海道のほぼ中央に位置しています。

南富良野町は北落合、落合、幾寅、東鹿越、金山、下金山の6つの集落で形成されています。総面積(665.54km²)の約9割が森林地帯となっており、金山ダムによって出来た人造湖「かなやま湖」があります。夏季にはウォータースポーツ、冬季にはワカサギ釣りを楽しむことができ、幻の魚「イトウ」の棲息地としても知られています。

また、南富良野町最大のイベントである「かなやま湖湖水まつり」が毎年7月下旬に開催されており、幅広い世代が楽しむことのできるステージイベントや納涼花火大会が行われ、約3,000発の花火が打ち上げられるなど、町民や町外からのキャンプを楽しむ人々で毎年賑わいます。地元の農産物を使用した「バタじゃが」や「ス

イトコーン」、「くまささ茶」なども有名で、老若男女に親しまれています。



かなやま湖湖水まつり「納涼花火大会」：ナイアガラの滝

2. 南富良野消防団の概要 (R1.8.1 現在)

南富良野消防団は1団本部と4分団の合計63名で構成されており、消防団車両は水槽付ポンプ車3台、ポンプ車1台(自然水利から中継送水する場合などのために全車両に小型ポンプも積載)の計4台を配備しています。



ポンプ操法訓練



南富良野町 特産品

3. 消防団員安全管理セミナー開催の経緯

毎年、北海道消防協会上川地方支部富良野地区分会の消防団活性化対策事業として、消防団員を対象とした現地教育訓練を5市町村の輪番制で実施しています。

その中で、消防団員の安全管理についてのカリキュラムが平成21年以降実施されていなかったこと、近年増加する災害現場での消防団員の活動機会の増加を受け、今回「消防団員安全管理セミナー」を開催させて頂きました。



4. 消防団員安全管理セミナーの様子

9月29日（日）南富良野町保健福祉センターみなくるを会場として98名の消防職・団員が受講しました。

講師には、消防団員等公務災害補償等共済基金S-KYT指導員の藤吉実義氏をお招きし、実際の現場や日頃の訓練の中でどのような行動が公務災害につながるのか、実際にあった事例を基にわかりやすく説明していただきました。

また、基本である指差し呼称や健康管理の重要性を再認識させていただき、参加者からは公務災害に対する意識が変わったという声が寄せられるなど、大変好評でした。



5. 今後の取組について

消防団員安全管理セミナーを通じて、危機管理に対する意識を向上させることができました。

今回学んだことを各所属の消防団員に持ち帰ってもらい、当日参加できなかった団員への指導や日頃の訓練及び現場で生かされることで、より一層充実した消防団活動につなげていきたいと考えております。

結びに、この度の講習開催にご尽力頂きました、S-KYT指導員の藤吉様をはじめ、消防団員等公務災害補償等共済基金の方々的心より感謝申し上げます。